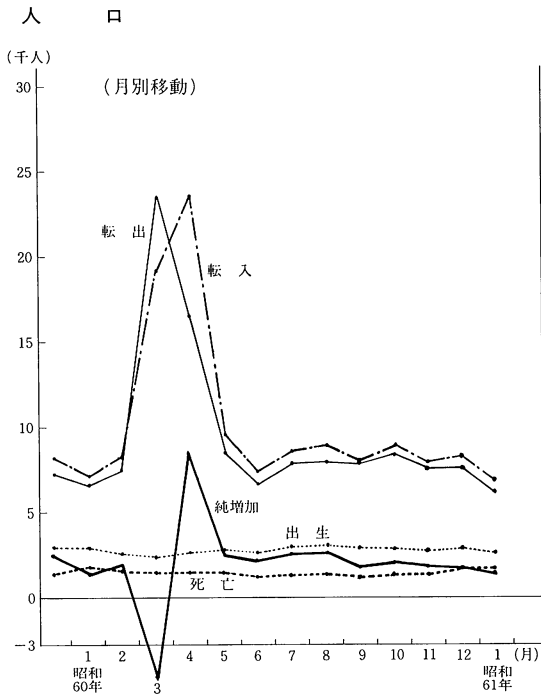
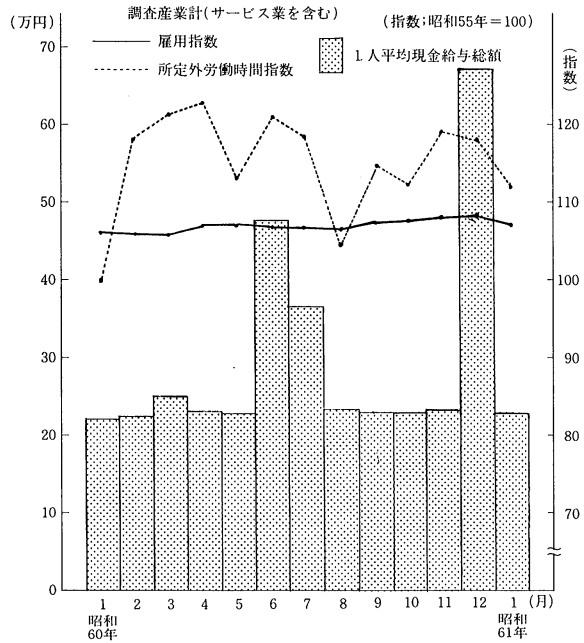


●今月の主な動き

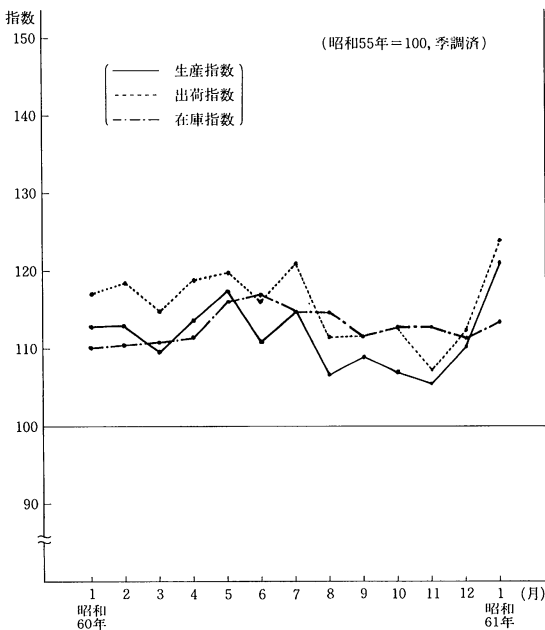
今月の主な動き



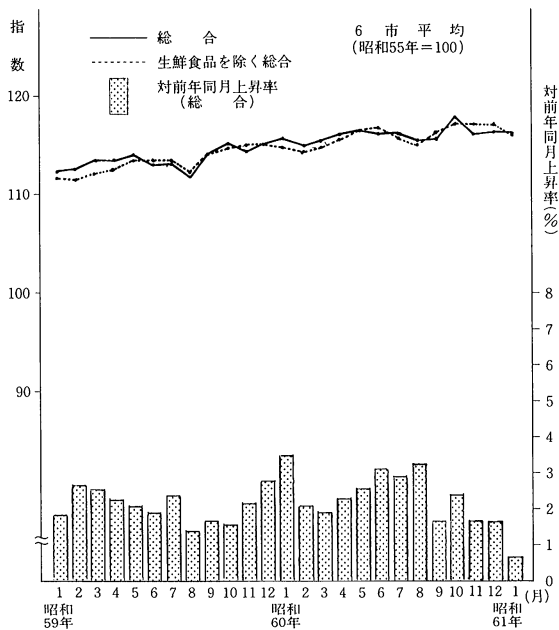
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部統計課

■ 人 口 (2月1日)

本県の人口は、1月中に1,601人増加し、2月1日現在で2,732,230人(男1,361,330人、女1,370,900人)となった。

内訳は、自然動態で926人(出生2,738人、死亡1,812人)、社会動態で675人(転入6,911人、転出6,236人)それぞれ増加した。

市町村別では、増加が16市49町村、減少が2市23町村、増減なしが2村である。

世帯数についても、649世帯増加して、760,246世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (1月)

1. 平均賃金の推移

1月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は231,751円で前月に比べ65.6%減(前年同月比3.5%増)であった。

このうちきまって支給する給与は227,335円で前月に比べ1.8%減(前年同月比4.3%増)であり、特別に支払われた給与は4,416円で前年同月に比べ1,590円減であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は160.3時間で、前月に比べ11.4%減(前年同月比0.6%増)であった。

このうち所定内労働時間数は144.2時間で、前月に比べ11.2%減(前年同月比0.3%増)であり、所定外労働時間数は16.1時間で、前月に比べ13.4%減(前年同月比1.9%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、107.3で、前月に比べ0.6ポイント減、前年同月に比べ1.1ポイント増であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (1月)

本県における昭和61年1月の「鉱工業指数」(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が121.4、出荷が124.3、在庫が113.7で、前月比は、生産が10.0%の上昇、出荷が10.9%の上昇、在庫が2.0%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が7.7%の上昇、出荷が6.6%の上昇、在庫が3.4%の上昇であった。

業種別にみると、生産では、輸送機械、石油・石炭製品、食料品・たばこ等が上昇し、鉱業、窯業・土石製品等が低下した。出荷では、輸送機械、鉄鋼業、食料品・たばこ等

が上昇し、一般機械、パルプ・紙・紙加工品等が低下した。在庫では、輸送機械、一般機械、化学工業等が上昇し、鉱業、精密機械等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、資本財、その他用生産財等が上昇し、耐久消費財、鉱工業用生産財等が低下した。出荷では、資本財、非耐久消費財が大幅に上昇したのをはじめ、すべての財が上昇した。在庫では、その他用生産財、資本財等が上昇し、非耐久消費財、耐久消費財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (1月)

昭和61年1月の茨城県消費者物価指数は、総合で116.5(昭和55年=100)となり、前月比0.1%の下落、対前年同月比0.6%の上昇となった。

今月上がった主な項目……野菜・海草15.6%、果物7.8%、身の回り用品2.2%

今月下がった主な項目……衣料△14.3%、シャツ・下着△7.0%、乳卵類△1.6%、他の光熱△1.4%

費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	116.5	△0.1	0.6	保健医療	117.2	0.0	3.2
食料	116.9	2.0	△0.8	交通通信	111.6	0.0	2.2
住居	120.6	0.1	5.0	教育	140.2	0.0	4.4
光熱・水道	107.2	△0.2	△1.3	教養娯楽	117.9	0.1	1.8
家具・家事用品	111.3	0.0	1.1	諸雑費	114.4	0.4	0.4
被服及び履物	115.1	△8.5	△1.3	生鮮食品を除く総合	116.3	△0.9	1.3